

『手足症候群』について

—カペシタビン錠300mg「サワイ」を服用中の患者さんへ—

カペシタビンを服用すると、『手足症候群』という症状が起こることがあります。予防や早期発見のため、治療を始める前にこの副作用について理解しておきましょう。

『手足症候群』とは？

手のひらや足の裏に、しびれ、痛み、感覚の^{まひ}麻痺、ヒリヒリ・チクチク感、^は腫れ、皮膚が赤くなる、などの症状があらわれます。カペシタビンを服用した場合に起こりやすい副作用の一つで、服用から8週目くらいまでにあらわれることが多いです。



厚生労働省「重篤副作用疾患別対応マニュアル：手足症候群」

【症状の程度】

痛みを伴わず、日常生活に制限がない状態

しびれ、物に触れたときに普段とは違う感覚がする、ヒリヒリ・チクチク感、^は腫れ、赤み、乾燥、色素沈着（黒ずみ）、爪の変形

痛みを伴い、日常生活に制限がある状態

^は腫れ、赤み、爪がひどく変形したりはがれたりする

強い痛みを伴い、日常生活をおくることが難しい状態

皮膚がはがれる、水ぶくれ、ただれて傷がある

● 手足症候群の早期発見・予防について

手足症候群は、症状が軽いうちに対処すれば悪化を防げる場合があります。治療が始まったらご自身の手や足をよく観察して、早期発見に努めましょう。特に、足の裏の症状には気づきにくいいため、注意深く観察するようにしましょう。

予防的なケアも大切です。

①保湿する、②手足への刺激を避ける、③手足を保護するように努めましょう。

具体的な方法はウラ面をご覧ください。▶▶▶

1 保湿する

- ・保湿クリームなどを塗って、手足の皮膚の乾燥を防ぎましょう。



- ひび割れや痛みなどの症状がなくても毎日使用するようにしましょう。
- ・手洗いや入浴の後は、すみやかに（目安：10分以内）保湿剤を塗るようにしましょう。
- ・就寝時には保湿剤を塗った後、手袋・靴下を着用しましょう。

2 手足への刺激を避ける

- ・手足を清潔に保つようにしましょう。弱酸性などの低刺激の石鹸を使用するとよいでしょう。
- ・熱いお湯につかることや、熱いシャワーを浴びることは避けましょう。
- ・強い日差しに当たらないようにして、日焼け止めクリームを塗ったり、帽子や衣服で直射日光を遮ったりするようにしましょう。

3 手足を保護する

- ・手袋を着用するようにしましょう（特に水仕事や庭いじりをする時）。
- ・長時間の歩行や立ち続けることを避けて、足に過度に負担がかからないようにしましょう。
- ・靴は柔らかい材質のものを選びましょう。
- ・靴をはくときは、厚めの靴下やジェル状の中敷きを利用しましょう。
- ・きつい靴下や靴をはかないようにしましょう。

『手足症候群』があらわれたら？

痛みを伴う症状の場合には、主治医と相談の上、カペシタビンの服用を一時的にお休みする場合があります。手足症候群の症状は、服用をお休みすることで、改善します。回復してくれば、主治医の指示に従い、カペシタビンを再開します。また、症状によってはステロイド外用薬や痛み止めを使用することがあります。

気になる症状が出たら、必ず主治医や看護師、薬剤師に相談してください。